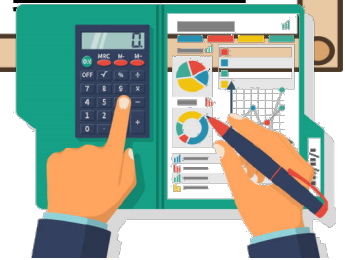


和地ひとみレポート No.415



『令和4年度予算の編成方針』

将来の東大和市のまちづくりへの第一歩となる予算

■来年度の予算編成

…毎年、市長が9月下旬に各部課長に通知する翌年度の予算編成方針。今年も9月29日付で通知され、市のHPでも公開されています。

…翌年度の予算は、市から提出された予算案の内容を3月に開催される市議会定例会の会期中に行う『予算特別委員会』で確認、審議し、議会の本会議の可決を得ることで予算が確定となり、4月からの執行が可能となります。

…東大和市の財政規模は全会計（一般会計と特別会計など）では、ここ近年は約530億円となっています。様々な市の事業を計上する「一般会計」だけを見ても約300億円で、予算編成では各事業の必要経費などを細かく分析し積み上げていく事務作業が必要。

よって毎年、市は秋から翌年度の予算を編成しています。このような財政に関する事務を考えると、市は年度が終わった4月から、9月の決算特別委員会開催までの間は前年度の決算関係の事務を、そしてその後、10月からは、3月に開催される予算特別委員会に向けての予算編成を行っていることとなります。

…現在、行われている来年度の予算編成のスケジュールは下記の通り。なお、東大和市では『**予算見積額の集計**』=予算編成方針に沿って各部が提出した予算の合計、『**予算見積額の調整状況**』=歳入では市税の増額調整など、歳出では今年度予算の執行状況等を確認して見積額を調整するなどした結果、『**予算見積額の査定等の状況**』=市長による査定結果（予算案の確定）、といった予算編成の途中経過も市のホームページで公表しています。

【令和4年度=来年度の予算編成スケジュール】

実施予定日	実施内容
令和3年10月28日	見積書提出期限
令和3年11月5日～26日	企画財政部長調整
令和3年12月23・24・27日、 令和4年1月5日	市長査定
令和4年1月19日	予算内示
令和4年2月上旬	予算案の決定

■今回は市の財政課題が明確に示され

…前述の、9月29日に通知された市長の「予算編成方針」では、冒頭、国の示している景気状況と、国や東京都の財政状況に関する認識が述べられ、その後、東大和市の財政状況に対する認識の大枠が示されます。昨年予算編成方針=今年度予算編成方針での冒頭では『新型コロナウイルス感染症の財政に与える影響はリーマンショックよりも大きいとされ、歳入が

減ることを考慮すること』といったことが中心に述べられていました。

…一方、「令和4年度予算編成方針」の冒頭を見ると、東大和市の財政課題をより具体的に取り上げていることに気づきます。このような冒頭の記述は、今まで予算編成方針ではあまり目にしたことがないこと。東大和市の財政状況を市長がより深刻に考え、具体的な課題を取り上げたのではないかと感じました。

【令和4年度予算編成方針の冒頭のコメント】

内閣府が発表した月例経済報告(令和3年9月)では、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。」と報告している。

当市における、新型コロナウイルス感染症の財政に与える影響は、令和3年7月までの法人市民税調定額の累計が前年同月比で大幅に減少するなど、依然として厳しい状況にある。また、少子高齢化や人口減少に伴う歳入の減少及び歳出の増加が見込まれることに加え、ほぼ全ての公共施設等において老朽化が進行しており、その対策が急務の中、学校施設の長寿命化改修だけで330億円を要することが明らかになるなど、今後の財政運営においては、様々な場面で厳しい選択を迫られる状況にある。

このような状況下、漫然と予算編成を繰り返すことは単なる課題の先送りにならないことを認識のもと、令和4年度予算編成において業務分析による抜本的な業務改革を実施するとともに、職員一人一人が自分のこととして、特定財源の確保、無駄の排除、事務の効率化、事業の廃止・縮小・統合を考えなければ、今後、予算を編成できなくなると考えている。

このことを念頭に置き、国や東京都の予算編成の動向を的確に把握するとともに、この予算編成方針に基づき編成することにする。

■予算編成で重視する考え方は…

令和4年は東大和市のデジタル化元年

…東大和市のまちづくりや行政サービス等の様々な計画や事業の大本となっているのが「総合計画」です。この「総合計画」は、「基本構想」（構想期間20年）、「基本計画」=基本構想で示されたまちづくりの目標を実現するために、まちづくりの施策を体系化したもの（計画期間10年）、「実施計画」=基本計画で定めた施策を実現するために実施する事業のうち、主要なものを定めたもの（計画期間3年）の3つで構成されています。

（裏面に続く）

…令和4年度＝来年度は「東大和市第三次基本構想」のスタート年度。この「東大和市第三次基本構想」において定められている将来都市像「水と緑と笑顔が輝くまち東大和」の実現のための基本計画も同じく令和4年度を初年度とする「第五次基本計画」となるため、令和4年度の予算編成においては、この「第五次基本計画」に基づく施策を推進していくことを重視する考え方とし、以下の具体的なポイントが示されました。

【令和4年度の予算編成における重視する考え方のポイント】

※斜体の項目(イとキ)は令和3年度の予算編成とほぼ同様の内容＝それ以外は令和4年度の予算編成で新たに示されたもの

ア: 「第五次基本計画」に基づく施策のうち、特に重要施策に留意して進めて行くこと。

イ: *引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応を進めていくとともに、感染拡大を防止するための「新しい生活様式・日常の定着」の実践を前提として、これまで実施してきた事業の内容や実施方法等を精査した上で、事業を実施すること。*

ウ: 令和2年度に実施した業務分析等支援業務の分析結果等を活用して、事務事業の見直し、事務の効率化などに取り組むこと。

エ: 令和4年度を初年度とする「東大和市第6次行政改革大綱」に基づき、市民サービスの最適化や効果的・効率的な行政運営の観点から、行政改革に取り組むとともに、持続可能な行財政運営のために、民間活力の導入の推進、歳入の確保、歳出の縮減等に取り組むこと。

オ: 行政手続き及び庁内事務のデジタル化は、業務の生産性を高める最も有効な手法である。市民サービス向上の面からも、多くの市が導入を目指しているが、当市においても、総合交付金などの特定財源が見込める間に、他市に遅れを取らぬよう進捗させていくこと。その上で、庁内データの有効活用につなげ、事務の効率化を図り、時間外勤務の縮減による働き方改革など、デジタル化元年としての取組を進めること。

カ: 令和3年5月31日及び同年9月1日の市議会議員全員協議会で説明した公共施設の設備等の修繕及び学校施設長寿命化に取り組んで行くこと。その際、優先度や緊急性に留意するとともに、限りある財源を有効活用するため、主管課における特定財源確保の努力、工夫を考慮すること。

キ: *開かれた市政の実現のため、施策の形成や課題の対応に当たっては、情報公開の推進と説明責任の徹底を図り、市民の理解と信頼を得ること。*

…令和3年度＝今年度の予算で東大和市はデジタル化(≒議会や部長などへのタブレット端末の貸与などによるペーパーレスやリモートワークなどに対応するための環境整備)の予算を計上していますが、コロナ禍により、世の中のニーズが高まった影響で、発注した物品が

未だに納入されていない状況のため、今年度は“デジタル化を進めるためのハードが整う”だけで終わりそうです。よって、来年度の予算編成では、これらを活かしたデジタル化をスタートさせることも考慮して予算を編成することにより、東大和市のデジタル化元年として令和4年度を位置付けていることも予算編成方針から分かりました。

■コロナ前には戻れない…

…そのほか、「令和4年度予算編成方針」の中の『予算見積もりの考え方：歳出予算』で示された内容では、今までとは違う新たな局面(≒世の中)になったことや、東大和市の財政状況がより一層シビアになったことを認識させられるような内容が、その中で特に気になったコメントは以下のとおりです。

◆引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う臨時的な経費が発生する一方で、歳入は確たる見積が難しい状況であることから、既存の事業について、その必要性を改めて検討し、見直しを図ること。

◆扶助費については、生活保護費が高止まりの状況となり、繰出金についても高齢化社会の進展に伴う医療・介護の給付等により、多くの予算執行が見込まれる。

◆老朽化が進んでいる公共施設等の対応については、本庁舎空調の更新や学校施設の長寿命化をはじめ、今後の更新等の経費に多額の財源を必要とすることから、「どうしたら国や東京都の補助金等の特定財源を活用することができるか」という視点を前提に、改めて事業内容の見直しを図ること。

◆イベント関係の見積もりにあたっては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、事業実施の可否を検討すること。事業費を見積る場合は、実施場所、実施時間や実施方法など、改めて事業の内容を精査すること。

◆新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に伴い、事業収入が減少し、歳出予算の増額が見込まれる(又は現に増加している)事業については、「コロナ前の状況には戻れない」ことを認識し、創意工夫をもって事業内容を見直すことにより、事業費の縮減に取り組むこと。

…通常通りの行財政運営でも、人口減少や高齢化の影響を考慮しながら、努力や工夫により持続可能で、かつ魅力的なまちづくりを進めてきましたが、今回のコロナ禍により、財政状況は一層シビアになっています。「令和4年度予算編成方針」では、厳しい現状を正しく認識し、将来にツケを残さないよう、そして職員が“自分事”として、国や都の特定財源の確保にアンテナを張ることを求めています。

…予算編成方針からは市全体の現状と考え方が読み取れます。「デジタル化」、「公共施設の老朽化対策＝この先の将来の公共施設のあり方」を具体的にスタートさせる令和4年度は、今後の東大和市のまちづくりに対する大きな一歩を踏み出す年になると思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思えます。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102